

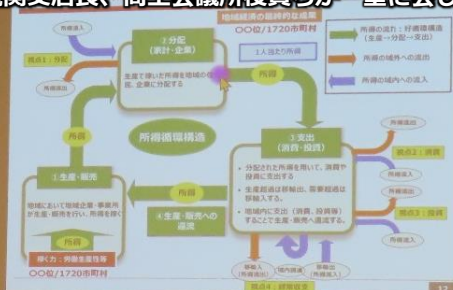
一緒に始めませんか、あなたの挑戦も応援します！ ～共に創る これからのふくろい～

発行日：令和3年12月3日
発行者：袋井市総合戦略課

政策勉強会 地域経済循環分析

～データから見る地域経済の実態～

市長、市職員幹部のほか、市議会議員や金融機関支店長、商工会議所役員らが一堂に会した勉強会



2021.11.9@ふくろい新産業会館「キラット」

統計データなどをベースに「地域のお金の流れ」を把握し、コロナ禍による影響や地域経済活性化に資する政策の方向性や民間ビジネスのあり方を考える政策勉強会を開催しました。

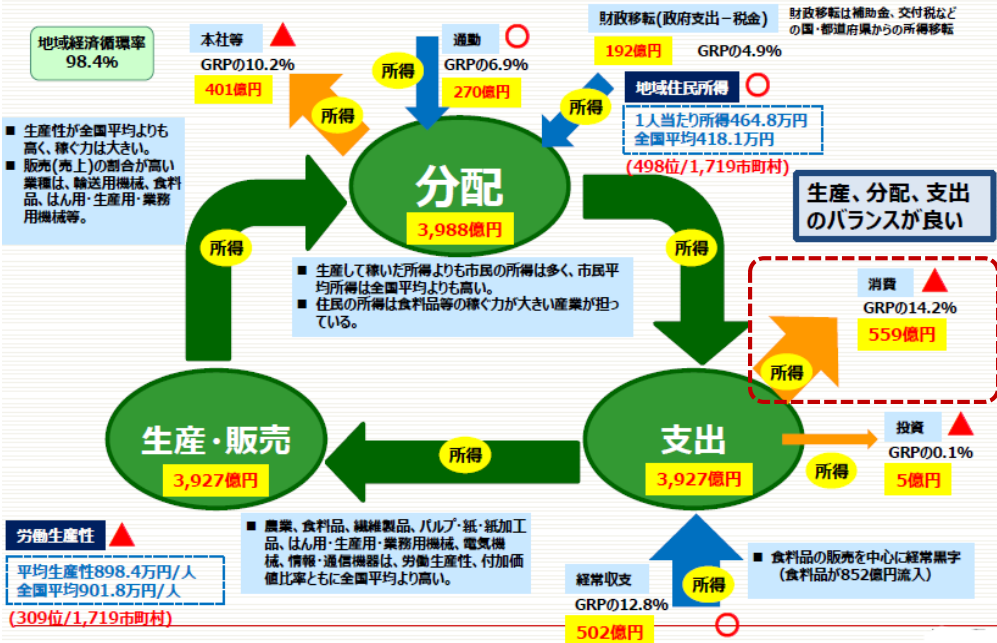
詳細はこちら

袋井市 地域経済分析

検索

袋井市の所得循環構造 (2015年)

製造業を中心に稼ぐ力が強く、本社等に所得が流出するも、地域内で所得が循環する構造



日本政策投資銀行グループ

株式会社 価値総合研究所

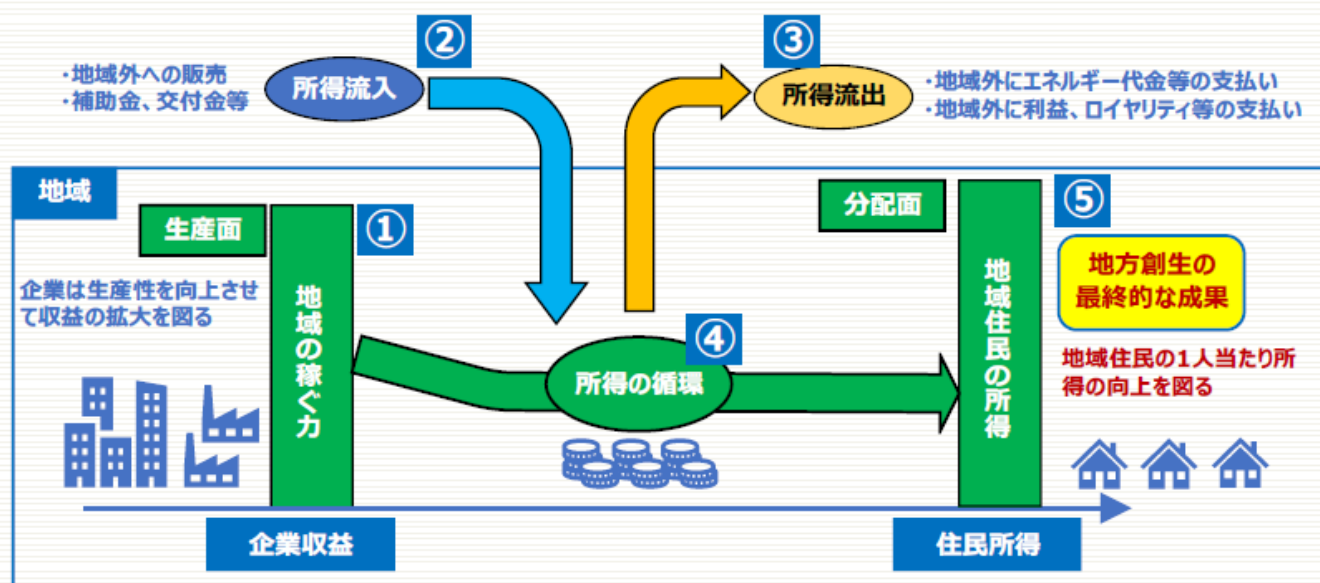
地域の稼ぐチカラは強いが... 日常の消費や非日常の消費を地域に取り込めず、民間消費が大幅に流出していることが課題



講師 (株) 価値総合研究所 執行役員 事業部長 山崎清氏

地域経済循環の構造（住民の所得向上までのメカニズム）

- 「地方創生」における最終的な成果は地域住民所得の向上である。
- 地域では、まず企業収益を拡大（①）させるとともに、地域外との所得の流入（②）と流出（③）があり、それらも含めて所得が地域内で循環し（④）、最終的に地域住民の所得が向上する（⑤）。
- つまり、企業収益の拡大は地方創生の必要条件であり、住民の所得向上につながって初めて必要十分なものとなる。



住民の所得向上のメカニズム

地域の住民の所得向上のためには以下の3つが必要となる。

- ① 企業の収益拡大等による地域の稼ぐ力（労働生産性等）の向上
- ② 地域外からの所得流入の拡大（輸出・移出拡大、補助金・交付金、利子・賃料収入拡大）
- ③ 地域外への所得流出を縮小（エネ代金等の地域外への支払い等の削減）

